

## 令和6年度 北海道高等学校 PTA 連合会十勝支部 研修会

令和6年9月28日（土）、大樹町を研修会場に十勝支部研修会が実施されました。

管内各校のPTA 役員及び教職員、合わせて50名の皆様に参加していただきました。朝、大樹高校に集合し貸し切りバスにて移動、午前は株式会社サンエイ牧場、午後は多目的航空公園にある HOSPO（Hokkaido Spaceport）を会場に見学・研修を行いました。

午前研修のサンエイ牧場は、大樹町市街地より南東10kmに位置し、地域の土地資源を有効活用した経営を行っている大規模牧場です。ビートやデントコーンをはじめとする耕作地、また乳牛約2700頭、黒毛和牛約120頭

飼養するなどとても広大な敷地を利用して経営されています。今回は、バイオガスプラントを中心に見学させていただき、資源循環型農業の活動について理解を深めました。発酵槽エリアでは、実際に槽内をのぞくことができ、家畜糞尿からメタンガスが発生している様子も見ることができました。このメタンガスは、ガスエンジンの燃料として利用され、発電機を稼働させたり、今後はロケットエンジンの燃料としても活用されていく構想もあるようでした。

午後から見学するHOSPOとの繋がりも伺うことができた見学となりました。

昼食には、大樹町に本店を構えるだいじゅ園にて焼き肉を美味しくいただき午後の研修に備えました。



午後研修のHOSPO（Hokkaido Spaceport）は、広大な土地、東と南が海で開かれていること、晴天が多い、空港や港が近いなど大樹町の利点を活用した商業宇宙港を目指して設立された施設です。敷地内にある宇宙交流センターSORAで、町役場の担当者によるオリエンテーションを受け、センター内の展示施設を見学し、宇宙産業について見識を深めることができました。現在は衛星用ロケットを飛ばす

ことのできる新しいロケット射場を建設中との話もあり、宇宙産業集積に向け動いていることなどの話もありました。その後、延長された滑走路へバスで移動、実際に降りて見学することができました。小型ジェット機も離着陸できる長さとのことで、将来は3000mの滑走路設置の構想もあるそうです。航空宇宙産業について身近に感じることができた研修になりました。



今年度の研修は、当番校である大樹高校の皆様にも早くから計画・運営にご尽力いただきました。山崎PTA会長、福本校長はじめ大樹高校職員の皆様のおかげをもちまして、学び多い充実した1日を過ごすことができましたことに厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。



<文責 高P連十勝支部事務局長（帯広工業高校教頭）梶野知己>